



小田原・平塚・修善寺・柏久保正教会だより

2020年8月1日発行 第216号

INBI  
КРЕСТЪ  
クレスト  
2020年8月号

司祭 ディミトリイ 田中 仁一

〒250-0011 神奈川県小田原市栄町四丁目 4-1

TEL/FAX : 0465-22-2792 携帯 070-5079-3408

E-mail: [holyspiritodawara@gmail.com](mailto:holyspiritodawara@gmail.com)

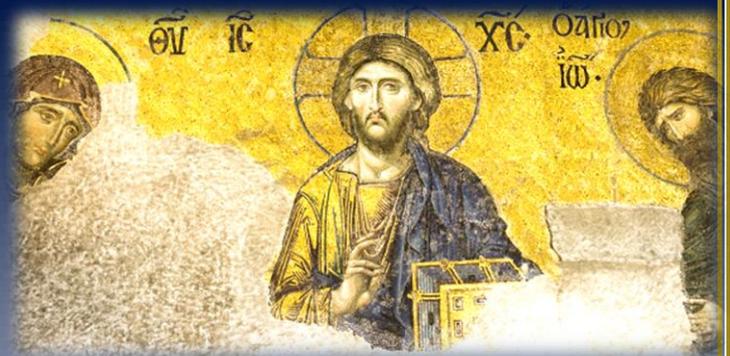
教団 HP: <http://www.orthodoxjapan.jp/>

小田原正教会 HP: <http://odawara-orthodox.com/>

郵便振替口座(小田原): 00270-6-15226

むかし ひばしら くも もつ  
昔 火柱と雲とを以てイズライを  
の みちび  
野に導きしハリストスは、  
こんにち タボル ざん おい い がた  
今日ファウォル山に於て言ひ難く  
ひかり うち かがや たま  
光の中に輝き給へり。

ほんらいさい そうか  
頭栄祭の早課 カノン第三歌頌より



主 ハリストスのモザイクイコン

コンスタンティノープル(現在のトルコ イスタンブール)にあるアヤソフィヤ大聖堂内部にあるモザイクイコン。最初のアヤソフィヤ大聖堂は西暦 360 年に建立されたが、動乱や戦争により崩壊を重ね、ドームで知られる現在の形の大聖堂は三度目、537 年に建立されたものである。その後もこの大聖堂は度々争いの犠牲となる。この主ハリストスのモザイクイコンは西暦 1260 年頃の作品。1453 年オスマン帝国がコンスタンティノープルを陥落させると、大聖堂はモスクへと改修された。世界大戦後、トルコはアヤソフィヤを博物館として公開するため、改修工事で壁の漆喰を剥がした。すると千年、或いは千年以上ものあいだ光り輝き続けてきた数々のモザイクイコンが現れたという。「デイシス(嘆願)」と呼ばれるこのイコンはその作品の一つである。

●五旬祭後第 8 主日聖体礼儀 (第 7 調)

8月2日(日) 10:00~ (9:30 痛悔)

使徒経: コリフ前 124 端(1:10-18) 福音経: 58 端(マトフェイ 14:14-22)

●頭栄祭(主の変容祭)聖体礼儀 (祭日調)・月例パニヒダ

8月16日(日) 10:00~ (9:30 痛悔)

使徒経: ペトル後書 65 端(1:10-19) 福音経: マトフェイ 70 端(17:1-9)

●五旬祭後第 11 主日聖体礼儀 (第 2 調)

8月23日(日) 10:00~ (9:30 痛悔)

使徒経: コリフ前 141 端(9:2-12) 福音経: マトフェイ 77 端(18:23-35)

●五旬祭後第 12 主日聖体礼儀 (第 3 調)

8月30日(日) 10:00~ (9:30 痛悔)

使徒経: コリフ前 158 端(15:1-11) 福音経: マトフェイ 79 端(19:16-26)

## 正教会によろこそ⑦

### 第二章

～教会の建築様式、イコン学の概要、  
なぜ椅子がないのか、聖人の記憶日～

ここからしばらく主たる祈祷場所である聖所で時間を過ごします。その前にちょっとだけこの啓蒙所の扉で立ち止まって、そこから聖所を見渡してみたいと思います。扉を開けると何が見えるでしょうか。

私はこれまで見てきた百を超える聖堂に思いを馳せます。トルコにあるアヤソフィア<sup>\*</sup>へも行きました。現在のアヤソフィアは西暦 537 年、イスタンブール（当時はコンスタンティノープル）に建立されたキリスト教の聖堂で、7432 平方メートルという壮大な建物です。アヤソフィアの「宙に浮く」ドームは今日に至っても建築家の探究心をくすぐります。また、私は米国内のたくさんの教会も訪問しました。米国の聖堂は 19 世紀から 20 世紀にかけてロシアやシリアそしてギリシアなどからの移民信徒の壮絶な努力と献身によって建立されたものです。聖堂内の壁という壁が全てイコンで覆われて、まるで宝石箱のような教会に行ったこともあります。荒廃した聖堂へも行きました。それらは特にトルコにたくさん点在します。かつてキリスト教徒が住むトルコに侵略者がやってきてキリスト教徒を掃蕩<sup>そうとう</sup>した時代、キリスト教徒たちは

こうした聖堂に駆け込んで致命したのでしょうか。今は崩壊した建物の石や十字架であつたらう棒などが風雨にさらされて地面に転がっています。

それから米国内では、もともとプロテスタントやカトリックが使用していた建物を聖堂としている正教会もあります。理由はこの後お話ししますが、正教会では東を向いて祈祷することが望ましいとしています。東を向いて祈るために、建物の側面を正面として祈祷場所を作っているところもありますし、場合によっては入口側が東である場合もあります。つまり、聖堂に入ったら体の向きを真反対に変えて祈ることになるのです。…

ミルウォーキ（ウィスコンシン州）にある生神女福音聖堂にも行ったことがありますが、この聖堂はフランク・ロイド・ライト（コルビジェ等と共に近代建築の三大巨匠と呼ばれている）による設計で、よく「空飛ぶ円盤」とか「宙に浮くハンバーガー」などと言われます。工業団地にある教会へも行きました。

裏表紙へ続く。

#### ※アヤ ソフィア（1985 年世界遺産登録）

古代キリスト教大聖堂。15 世紀半ば、4 本のミナレットが敷地の角に建てられてモスクへと改築された。



オスマン帝国滅亡の 12 年後、1935 年以降は博物館として公開していたが、先月再びモスクとして使用することがトルコ共和国によって決定された。

## 最近の出来事・消息

**小田原 聖堂内ランパータ献納** 信徒有志の方が、壁掛けイコン用のランパータと収納棚を献納され、設置して下さいました。神様への思いということで名前は公にしないで下さいと要望されたため、匿名にてご報告します。同じく、厳しいコロナ禍の中であっても教会を支えて下さっている多くの方々のことを思い、心より神に感謝致します。

**五旬祭後第4・第6主日聖体礼儀** 7月中の聖体礼儀は、感染対策を行いながらの祈祷となりました。詠隊は左右に分けてそれぞれの間をあけること、参拝者も控えめに聖歌を歌って頂くこと、窓に向かって空気を出すような対策、窓を開けることに因る虫の侵入を軽減するために、防虫効果のある乳香を使用するなど、人間で出来る限りの安心安全対策を試みました。五旬祭後第六主日の説教で、司祭は「我々、節制を実践する



7月中の晩禱の様子

正教の者は、今こそ節制によって身につけた忍耐の力をもって困難の時期を神と共に乗り越えたい」と伝えました。教会は現実の中にあります。現実に向かう訓練の機会も教会には備わっています。たとえ今、教会に来られない状況にある方々であっても祈りを通じて繋がり、個々のいる場で至聖三者の御名に由る安寧をもって生活していけるよう祈り続けます。

**修善寺・柏久保** 両教会とも全国公会のため、ご祈祷・集会はありませんでした。次回、柏久保教会は8月8日(土)、修善寺教会は9日(日)にそれぞれご祈祷と信徒総会を予定しています。

**平塚** 今年の信徒総会、新型コロナウイルス感染予防の観点から、一家庭に長時間集まることを避ける選択をとって、小田原教会と合同で、7月26日(日)小田原の信徒会館にて行いました。詳細は、次号にてご報告いたします。

**教区 東京大主教教区会議・全国公会** 東京大主教教区は6月28日、全国公会は7月11日(土)・12日(日)に東京復活大聖堂・ニコライ会館にて行われました。詳しくは次ページをご覧ください。

### 新型コロナウイルス感染症対策

7月から感染者の増加が続いています。こうしたことを各自に考えて参拝についてご判断下さい。今後もウイルスの状況によっては会報でお伝えした予定を変更する場合があります。LINEをご利用の方は、右のQRコードより登録し、情報を受信してください。同じものをホームページでもご確認いただけます。「宗教法人小田原ハリストス正教会」で検索してください。

修善寺教会・柏久保教会・平塚教会につきましては、予定の集會に変更があった場合、従来どおりの形でご連絡いたします。

既に小田原ハリストス正教会会報6月号に同封したガイドラインにQRコードがあります

## 東京大主教教区 教区会議

この度、コロナ禍の中で開催された東京大主教教区の教区会議は、新型コロナウイルス感染防止対策の観点から代議員に委任状の提出を積極的に奨励したうえでの開催となった。2020年6月28日(日)、司祭が管轄する小田原、平塚、修善寺、柏久保の四教会から教区会議に出席した信徒代議員は二名、小田原のミハイル神谷忠明執事長と同じく小田原のユリヤ廣石明美姉であった。教区理事で小田原のディミトリイ日比野正男兄、平塚の重田執事長、修善寺の山田執事長、柏久保の三田執事長は欠席・委任された。

教区会議では会議冒頭でダニイル府主教座下が開会の言葉を述べた後、ご自身の健康状態を考慮して退席、宗務局長のコンスタンティン栴田神父様が議長を引き継がれた。教区会議の議案は例年通りではあったが、過年度の活動報告では3月以降の教区行事は全て中止、教区の会合が若干開催されただけであった。新年度の活動計画案にも「時期未定」の文字が目立ち、コロナ禍の未曾有な深刻さが伺える。さて、この新型コロナウイルス感染問題に対して教区は新年度新たな財政支援対策を講じる。2020年度「新型コロナウイルス対応教区臨時交付金」の新設である。これは、コロナ禍での教会への参拝自粛で信徒献金

への影響が避けられないという推察に基づいて、「教区臨時交付金」として400万円を計上する。教区内の各教会に交付される金額の算定は、篤信献金の教会ごとの金額を基に、現行の教区分担金の実質負担の程度を考慮して算出された。それによれば、小田原・平塚の教会に合計14万円、修善寺・柏久保の教会に合計で12万円が交付されることとなる(手続きは既に開始されている)。

昨年、教団からの支援で新信徒会館が竣工した修善寺の山田執事長は教区会議に出席し、多大な支援を賜ったことに対して、ダニイル府主教座下はじめ、教団財務部長である東京復活大聖堂教会のパウエル小島執事長、教区の神品信徒代表に感謝の言葉を述べることを切望していたが、自身の体調を考慮して委任・欠席された。残念ながら新信徒会館成聖式そのものは台風の直撃で中止となったが、教団・教区から賜った支援への感謝の言葉を山田執事長に代わって管轄である私、司祭田中が述べ、議場からは拍手を頂いた。教区の新年度は未曾有なコロナ禍の不安の中で始まった。しかし、私たちは教区活動を止めることはできない。神の恩寵と叡知を求め、着実に霊的前進を遂げていきたい。

## 全国公会

仙台のセラフィム大主教座下が東京の副主教に兼務就任されてから一年目の全国公会である。昨年教団の指導体制が大きく変化し、セラフィム大主教座下が東京の副主教として、東日本主教区だけでなく、東京大主教区の教区行事にも参加されるようになった。また東京復活大聖堂では毎月二回主日聖体礼儀を司務され、約10日間東京に滞

在される。その間、主教会議が開催され、ダニイル府主教座下とセラフィム大主教座下が頻りに協議されるようになった。

このように目に見える実質的な変化の中で、過年度は本年9月に予定されている聖ニコライ列聖・日本正教会聖自治五十周年式典に合わせたキリル総主教聖下訪日に向けてロシア正教会モスクワ

総主教庁渉外局と連絡を取りながら、教団は主教会議の指導の下、着実に準備を進めてきた。また、主教会議は宗務総局会議と連携して、教団財務上の諸問題の整理、教団規則の改正とこれに伴う公益事業としての既存納骨堂の認可、新納骨堂の新設など、着実に実績を上げた。教団は主教会議の指導の下で教会活動においても確実に充実し、2020年9月の総主教来日と五十周年記念式典を盛大に計画実行することができるものと思われた。しかし、神は私たちに試練を与えられた。新型コロナウイルス感染問題である。教会の閉鎖、教会への参拝自粛、感染防止のためマスク着用のままでの参拝、入堂時の手指消毒・検温、十字架・アイコン等への接吻の自粛、等々。コロナ禍に直面し社会に「新たな生活様式」という通念が急速に形成され、これに準じて教会は個々にその対応に追われたが、主教会議が「基本方針」を提示してくれたおかげで、このコロナ禍の危機の中にあって教会は柔軟な対応ができた。

しかし、コロナ禍が未曾有な深刻化の様相を呈するようになって、教団の活動も停滞し、ついには9月の総主教訪日、五十周年記念式典の開催まで危ぶまれるようになった。このような状況下で7月11日(土)から二日間の日程で新年度の通常全国公会が東京で開催された。本来であれば、東京オリンピック・パラリンピック開催による都内の混雑を回避するため仙台での開催を予定していたが、コロナ禍でこれに関連する諸般の事情が変化したことにより、例年通り東京開催となった。新型コロナウイルス感染防止対策の徹底とはいえ、公会の会場となった東京ニコライ会館の様相は前代未聞であった。代議員に委任状の提出を推奨したこともあり、参集した代議員はわずか30名であった。

全国公会の議事内容はほぼ例年通りであったが、特筆すべき事項としては、長司祭マルコ小池祐幸神父(一関)の宗務総局長就任(東日本主教教区宗務局長を兼務)、司祭コンスタンティン栴田尚神父(山手)の長司祭昇叙、新型コロナウイルス問題に対する教団財政支援(三教区に合計2500万円の財政支援)建議案の承認、そして、首司祭イウスチン山口義人神父永眠と首司祭サワ大浪佑二神父休職に関する宗務総局報告である。

新年度全国公会の中心的話題となるはずであった2020年9月の総主教来日と五十周年記念式典開催に関する報告では、準備も含め一連のモスクワ総主教庁とのやり取りの経緯が説明された。そして、来日2か月前となる公会当日には来日可否について明確な答えをもらうはずであったが、当日になってもモスクワ総主教庁から何の返答もないことが報告された(キリル総主教聖下は、ダニイル府主教座下に宛てた書簡で、コロナ禍の中でも8月には日本が入国制限を緩和することに期待し、予定通りの来日を希望する旨を伝えた)。一部の代議員からは、かつて総主教自らがコロナ禍の中で全信徒に自粛を要請したことと言及し、自治教会の総意として総主教に来日中止を求めるべきとの意見も提示されたが、議長であるダニイル府主教座下は、公会の総意をもって改めて総主教来日の可否をモスクワ総主教庁に問うことを表明し、議案としての報告は収められた。公会当日でさえ、東京の新型コロナウイルス感染者数は200人を超えていた。

コロナ禍の未曾有の危機が迫る中での新年度の始まりである。教団は主教会議を中心としてより一層結束しなければならない。

**【2020年8月】小田原・平塚ハリストス正教会月間活動予定表**

日	曜日	祈祷・行事・集会	主日調/聖書の読み
1	土	主日前晩禱(早課 17:00)	8/2 第7調 使徒経：コリ前 1:10-18 福音経：マト 14:14-22
2	日	五旬祭後第8主日聖体礼儀(10:00)	●婦人会昼食当番 昼食はありません
3	月		
4	火	[東京]	8/9 第8調 使徒経：コリ前 3:9-17 福音経：マト 14:22-34  ※[教団事務局夏季休暇8月14日～20日まで]
5	水	[東京]	
6	木	[東京]	
7	金	[伊豆]	
8	土	[柏久保]	
9	日	[修善寺]	
10	月	[伊豆] <span style="float:right">山の日</span>	
11	火	[東京 教区財務部会]	8/16 顕栄祭 使徒経：ペト後1:10-19 福音経：マト17:1-9  ●婦人会昼食当番 昼食はありません
12	水	[東京]	
13	木	[東京]	
14	金		
15	土	顕栄祭徹夜禱(17:00)	
16	日	顕栄祭聖体礼儀(10:00)・月例パニヒダ	
17	月		
18	火		8/23 第2調 使徒経：コリ前 9:2-12 福音経：マト 18:23-35
19	水		
20	木	[東京 教区理事会15:00]	
21	金	[東京]	
22	土	主日前晩禱(早課 17:00)	
23	日	五旬祭後第11主日聖体礼儀(10:00)	
24	月		
25	火		
26	水	[東京]	8/30 第3調 使徒経：コリ前 15:1-11 福音経：マト 19:16-26
27	木	[東京]	
28	金	[東京]	
29	土		
30	日	五旬祭後第12主日聖体礼儀(10:00)	
31	月		

\* [ ]内は司祭または教区の活動 \*

\* 聖体礼儀に参拝し領聖するときは、前日から十分に節制しましょう \*

\* ここには主日の聖書の読みが記載されています。お手持ちの聖書を読むときに活用して下さい。 \*



## 8月の永眠者一覧(敬省略)

永眠日	聖名	氏名	永眠年	縁故者
1日	オリガ	神谷 和子	2005年	神谷 忠且
4日	ペトル	渡辺 邦雄	1995年	渡辺 和枝
5日	トリフォン	山本 勝五郎	1917年	山本 やす江
5日	ウエラ	加藤 八重子	1979年	加藤 宏
6日	モイセイ	渡辺 銀次郎	1912年	渡辺 宏
7日	エウドキヤ	中島 八重子	1952年	岡野 康子
9日	サモン	渡辺 紫郎	1979年	渡辺 宏
10日	エレナ	日比野 キク	1944年	日比野 正男
11日	フェクラ	廣石 キヨ	1973年	廣石 和子
13日	イリナ	日比野 貞子		日比野家
14日	ペトル	荒井 久作	1969年	荒井 譲
14日	ニーナ	長澤 ニーナ	1980年	
15日	ルカ	中島 栄吉	1978年	中島 八千代
16日	ディオニシイ	廣石 祐一	1977年	廣石 真太郎
17日	イリナ	山口 良子	1923年	山口 晃
21日	フィリップ	日比野 勇	1944年	日比野 勇
21日	ロマン	中島 信一	1994年	岡野 康子
24日	ソサンナ	樋口 ユリ子	1918年	樋口家
31日	オリガ	阿久津 貞子	1925年	阿久津 八重子
4日		内藤 富美子	1963年	内藤 直樹
5日		川崎 俊夫	1990年	川崎 晃
16日	司祭パウエル	松井 貢治	2014年	

今月は第3週日曜日に永眠者の記憶を祈る「パニヒダ」を行います。聖堂は皆さんのお祈りの場、そして皆さんの<sup>たましい</sup>霊が永遠に養われる場です。ローソクを灯して少しの間、ご家族のために祈りに来られるだけでも大変結構です。どうぞ遠慮なさらずお越しください。(月例パニヒダの日は必ず会報をご確認ください。)



**献金報告** 7/19 現在 日付は会計処理日です。ありがとうございました。

日付	氏名	摘要
7/1	神谷 忠且兄	パニヒダ献金
7/8	川辺 康弘兄	復活祭献金
	假野 美枝姉	復活祭献金
	田中 孝衛兄	復活祭献金
	神保 泉姉	感謝献金

日付	氏名	摘要
7/8	奥村 真弓姉	感謝献金
7/19	廣石 清子姉	パニヒダ献金
	神谷 幸夫副輔祭	パニヒダ献金
	日比野 俊二兄	パニヒダ献金

婦人会献金：今月はありません。

## Welcome to the Orthodox Church by Frederica Matthews-Green

### 正教会によろこそ① 2ページからの続き

そこには6メートル以上の高さの鉄筋の天井のところに、円形のベニヤ板に貼ったキリストのイコンがあります。また中華料理食べ放題店とネイルサロンに挟まれた、いわゆる

「色町」のただ中にある教会の祈祷に参拝したこともあります。立ち上げたばかり、という教会へも行ったことがあります。…日曜日だけ使用できる賃貸のワンルームをイーゼルに立てたイコンで仕切って聖所と至聖所を作り、聖堂としている教会もありました。

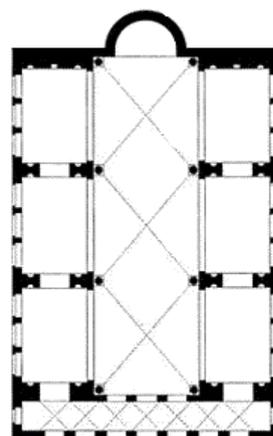
正教会としてあるべき祈祷する空間の見当がつかしましたか？初代のキリスト教徒たちの集いは人の家で行われていました（ローマ16：5、第一コリント16：9。）なかにはいつでも教会として使用できるような部屋を一室設けていた家もあったかもしれません。その後西暦313年にキリスト教が公認されると、ようやくキリスト教徒たちは祈祷に特化した建造物を建てられるようになったのです。

初期においてはギリシアやローマで既に浸透していた建築様式を採用しました。いわゆる「バシリカ式 (basilica)」と呼ばれるものです。バシリカという言葉の語幹であるバジル（ロシア語でワシリイ）はギリシア語で「王」を意味します。つまりバシリカとは「王の法廷」を意味します。

（もしかしたら「バジルってハーブかと思った」という方もいると思いますが、あながち

間違いとは言えません。皇后エレナ（英名：ヘレン）がエルサレムでキリストの十字架を発見したと言われていますが、彼女はその近辺でとても美味しいハーブも見つけたということで、それが「バジル」と名付けられたそうです。この言い伝えから9月14日(旧暦9月27日)の十字架挙栄祭では、ハーブのバジルが聖堂内を飾る教会もあります。)

バシリカ様式の建物はシンプルです。長方形で、入口から見て両脇に左右対称の円柱が立ち並び、その柱が向こう正面の壁から外に向かって半円状に飛び出ている空間（アプス）まで続いています。列柱が中央の主廊と左右の側廊とに細長く3つに分けているように見えます。さらに、それら側廊の天井を主廊の天井より低くすることでできる壁に窓を設けて貴重な明かり取りとしている建物もあります。（続く）



バシリカ式聖堂 聖ディミトリオス教会（テサロニキ）